

語り人

その人の語りは
静かで滑らかだが
深い想いを押さえていた

大戦の中で起こった歴史の真実

ある日突然
貨車に乗せられ 収容された

与えられるものは
腐ったじゃがいも一つに
臭いのするスープだけ
明日はガス室が待っていると
いうことも知らずに

縞の囚人服を着せられた子どもたちは
高い塀の中に閉じ込められた

塀の上を飛んでいく蝶に
どんな想いを託したのか

悲しい目をした女の子と男の子が
その人の語りを聞きに傍に来た

夏の訪れが早い我が家の庭にも
今日

黒アゲハや黄アゲハがきた
羽を広げ自由に移ろう時
その人の語りが

私の脳裏に黒い脈絡となって走る

ステージが終わりに近づく時
その人の体の周りには
いつしか大勢の子どもたちが
集まっていた

あの縞の服を着せられた
女の子と男の子たちが

―展示されたこどもの名前を一人でもいいです
覚えてやってください
絵を見にきてくださった方々に
子どもたちに代わってお礼申し上げます

その静かな語りが
怒りと悲しみを抑えに抑えた
語りだということが

私たちの胸に悲しみの井戸を掘る

日本列島を飛ぶ語り人^{ひと}
テレジンの蝶になって

野村路子さん